

緊急質問

【質問日】平成27年9月15日（火）

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
1	森満 晃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川内原子力発電所1号機の再稼働に関する抗議行動の対応について (1) 今回の再稼働に関する大々的な抗議行動、特別警戒、検問等については、薩摩川内市や鹿児島県、県警からも地元に対して事前説明がなかったのはなぜか。 (2) 昨年9月、久見崎海岸（鹿児島県管理）に再稼働反対派がテント村なる建屋を設置し、間もなく1年となるが、いつまでに撤去させるのか期限を示せ。 (3) 本年8月8日、久見崎海岸で行われた「ウエル亀ロックフェスティバル」のメインステージ設置について、実行委員会が行った海岸の占用許可申請を県が不許可としながらイベントを実行させたのはなぜか。責任者は誰なのか。今後もこのようなことをさせるのか。また、今後このようなことがあった場合、どのような対策、配慮がなされるのか。 (4) 川内原子力発電所周辺の県道43号線において検問が数日間行われ、久見崎・寄田地区にとっては、普段の生活道路であり、高齢ドライバーも多い中、往復通行するたびに検問で止められた。地元住民へ事前案内の配慮があるべきではないか。また、検問の簡素化といった観点から、地元車両に対し、通行証の配布等の配慮があってよいのではないか。併せて川内港の漁協組合員の船が出港・帰港のたびに職務質問を受けた。海上保安部から組合員の船を示すのぼり旗を配布する配慮をいただいたが、全組合員に配布されず、徹底すべきではないか。 (5) 本年8月11日、川内原子力発電所正門ゲート前で、反対派の車5台が県道を封鎖した。寄田地区の生活道路であり、川内市街地から土川・羽島・串木野方面へ通勤等で利用される方も多し。通勤の車や路線バスも足止めされ、車中には、この日、病院で透析を受けなければならない地元高齢者もいた。なぜ、400名もの機動隊を配備しながら県道封鎖を阻止できなかったのか。片側通行だけでもできなかったのか、説明を求める。
2	井上 勝博	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊藤祐一郎鹿児島県知事は、8月の定例記者会見で「避難計画はほぼパーフェクト」と発言した。以下の項目について、12月に行われる原子力災害の避難訓練で検証すべきである。 (1) 県は、「避難施設等調整システム」を完成させたとしている。しかしながら、このシステムでは避難先を住民に伝え、誘導する手段など課題も多いと指摘されている。伝達手段、変更になった避難経路や避難先にたどり着くための移動手段や誘導について説明を求める。 (2) 内閣府は、避難退域時検査・除染について、原則として避難先となる市町に1箇所ずつ設置する救護所等で実施するとしているが、救護所等の位置は定まったのか。福島県南相馬市では、スクリーニングポイントが避難先までの間になく、要援護者を乗せたバスが遠回りをして避難先に到着したために犠牲者が出た。この教訓を生かす方策は検討されているか伺う。

3	佃 昌樹	<ul style="list-style-type: none"> • 川内原発1号機の再稼働に関連して <ul style="list-style-type: none"> (1) IAEAの深層防護の第5層「公衆被害の低減」をつかさどる主体的責任はどこにあるのか。 (2) 避難計画について <ul style="list-style-type: none"> ア 避難訓練においては立地市として、県に対して何を要求していくのか。また、市としてはどのような規模や体制で、どこまで実施するのか。そのことによって何を検証したいのか。 イ 自治会長等に配布された避難行動要支援者名簿の活用の在り方と、具体的避難の計画が進んでいないのが実態であるが、具体的な避難計画及び避難の実践については、手立てが必要ではないか。
---	------	--